

令和3年度 埼玉県学力・学習状況調査の結果(藤沢小学校)

平均正答率

(単位 %)

教科	国語			算数		
	小4	小5	小6	小4	小5	小6
藤沢小	54.8	54.4	57.7	66.1	65.7	63.5
埼玉県	58.0	56.7	58.6	69.9	61.6	60.9

質問紙調査より

※質問事項は質問紙調査より抜粋したもの

※「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」を合わせた値

(単位 %)

	質問事項	小4		小5		小6	
		藤沢小	埼玉県	藤沢小	埼玉県	藤沢小	埼玉県
生活習慣	・脱いだ履き物のかかとをそろえる	83.5	83.3	75.3	83.6	87.8	86.8
	・相手の顔を見て、はっきりあいさつをすることができる(小4) ・自分からはっきりあいさつをすることができる(小5、小6)	75.3	78.5	79.5	78.2	65.6	78.0
	・相手の気持ちを考え、やさしい言葉づかいができる	87.1	84.6	84.9	84.6	84.4	84.1
学習習慣	・学校の宿題をしている	95.3	94.9	95.8	96.2	96.7	96.1
	・学校の授業の予習や復習をしている	75.3	69.3	67.1	69.9	83.3	70.0
	・平日、学校の授業時間以外に1時間以上勉強している(塾等を含む)	53.0	51.1	58.9	58.3	68.9	64.9
学習等への関心	・勉強することが楽しい、好き(勉強する理由として)	72.9	70.0	63.0	63.8	52.3	57.8
	・勉強は将来の進学や就職に役に立つ(勉強する理由として)	91.8	88.3	94.5	88.7	95.5	90.8
	・地域の歴史や自然に関心をもっている	85.9	77.5	76.7	70.9	74.5	63.7
その他	・自分には、よいところがある	76.5	80.2	82.2	77.9	82.3	69.8
	・難しいことでも失敗をおそれないで挑戦している	82.4	80.3	80.8	79.9	74.5	75.8
	・将来の夢や目標をもっている	95.3	89.0	94.5	88.3	86.7	83.4

藤沢小の「よかった点 (◎)」と「課題 (●)」

【4年生】

- ◎国語では、漢字を正しい読み書き、同義語や対義語についてはよく理解しています。
- ◎算数では、3位数のたし算や分数のひき算はよくできています。分数についての理解や表の読み取りなどの正答率は、県よりも高いです。
- 国語では、文中の主語・述語を選択したり、指示語の示す内容を文中から書き抜いたりすることに課題が見られます。また、二段落構成で文章を書くような記述式の問題に対する正答率も低いです。
- 算数では、図形と測定領域の正答率が低く、二等辺三角形の特徴や球の半径・直径の理解、時計を読み取り、時刻を計算して求めることに課題が見られます。

【5年生】

- ◎国語では、言語に関する正答率が県と比較して高く、漢字の部首の理解、漢字辞典の使い方、ことわざの意味などよく理解しています。学力の伸びは、県が平均2段階に対し、5年生は平均3段階です。
- ◎算数では、県の正答率を上回っています。学力の伸びは、県が平均3段階に対し、5年生は平均4段階です。180度より大きい角を分度器を工夫して用いて測ることや概数を用いて目的に適した見積もりの方法を考えることなど、県の正答率を大きく上回っています。
- 国語では、読むことの領域に関する正答率が低いです。登場人物の発言の根拠となる言葉を書き抜いたり、筆者の考えとして適切なものを選択したりすることに課題が見られます。
- 算数では、あまりのあるわり算や商が小数になるわり算の計算に課題が見られます。また、記述式の問題について、無解答の児童の割合は低いものの、正答率が低いです。

【6年生】

- ◎国語では、言語に関する正答率が県と比較して高く、接続語の働きや敬語の種類、慣用句の意味などよく理解しています。
- ◎算数では、県の正答率を上回っています。学力の伸びは、県が平均3段階に対し、5年生は平均5段階です。小数のかけ算とわり算、最小公倍数、最大公約数、平行四辺形や三角形の面積、平均、単位量当たりの大きさなどよく理解しています。
- 国語では、4年生と同様に、文中の主語・述語を選択したり、指示語の示す内容を文中から書き抜いたりすることに課題が見られます。また、文章の内容を理解する問題についても、県の正答率より下回っています。
- 算数では、内のりから容積を求めることや割合を表した式の意味を選ぶことに課題が見られます。

【質問紙】

- ◎将来の夢や目標をもっている児童の割合が、県と比較して高いです。
- ◎平日、学校の授業時間以外に1時間以上勉強している児童の割合が、県を上回っています。
- はっきりあいさつをすることができる児童の割合が、県と比較して低いです。
- 勉強することが楽しい、好きという児童の割合が、高学年になるほど低くなっています。

課題への取組・改善策

【国語】

- 「読むこと」の単元において、各学年で押さえるべき読み取りのポイントをしっかりと指導し、読解力の向上を図っていきます。また、読書活動を推進し、各学年に応じて工夫して取り組んでいきます。
- 朝学習の取組「ガッツタイム」において、テーマに沿って条件作文を書く活動を取り入れ、記述力の向上を図ります。また、新聞記事を活用したワークシートも適宜活用していきます。

【算数】

- 3年生以上で実施している少人数指導において、個に応じた指導の一層の充実を図っていきます。
- 朝学習の取組「もくもくタイム」において、4年生以上で復習シートを適宜活用していきます。また、タブレット内の学習アプリも効果的に活用していきます。

【その他】

- 自分からはっきりあいさつすることができる児童の育成を目指してあいさつ運動に力を入れていきます。
- 学習内容の定着には、家庭学習の充実が不可欠です。引き続き、励ましの声かけや丸付けなどのご協力をお願いします。